



# 山 紫

やまむらさき



校庭の隅に実を結んだ赤く熟す前のカラスウリ

《5つのいっぱい運動》あいさついっぱい、花いっぱい、歌いっぱい、読書いっぱい、運動いっぱい

## ◇◇◇ 実り多き秋に ～遠足・修学旅行～ ◇◇◇

学校周辺の木々も色づき始め、秋の気配を感じるようになりました。今月は、1・2年生と5年生が19日（木）に、3・4年生が20日（金）に遠足に行きました。また、6年生は19日（木）～20日（金）に修学旅行に行きました。

こうした遠足・集団宿泊的行事についても、運動会同様、「事前指導」が重要で、子どもたちの意欲を高めることはもちろんですが、例えば班別行動をする場合には、教師の適切な指導の下、詳細な計画を子どもたちが立てなければなりません。当然、学年相応の計画になりますが、当日の安全と楽しさを担保するためには、避けては通れない道なのです。もちろん、学校外の活動になりますから、ある意味、運動会以上に子どもたちの主体性と教師・児童双方の危機管理意識が問われます。つまり、「当日までに、限られた時間の中で、教師と子どもたちがどれだけ莫大なエネルギーを投じることができたか」が勝負の分かれ目となるのです。事前指導そのものがリスクマネジメント（危機管理）となるのです。さて、それぞれの行事の後には、教師も子どもたちもそれぞれの立ち場で振り返りをします。楽しかったことや上手くいったことばかりではありません。そこには当然、失敗したことや計画どおりにいかなかったことなども、課題として出てきます。学校は社会の縮図だとよく言われますが、唯一、失敗が許される社会です。ですから、今回の遠足・修学旅行においても、出された課題を、次の行事や学習・生活等で生かしていけばよいのです。つまり、「成功するまで続ければ、失敗は途中経過（学び）になる」のです。子どもたちは、教室では学べない多くのことを、楽しみながら体験してきたのです。なすことによって学んできたのです。





1-1 子ども総合科学館

1-1 子ども総合科学館

1-1 子ども総合科学館

1-1 子ども総合科学館

※併せて学校のホームページもご覧ください。→ <http://schit.net/mashiko/esmashiko/>

1-1 子ども総合科学館

1-1 子ども総合科学館

1-1 子ども総合科学館

1-1 子ども総合科学館

※併せて学校のホームページもご覧ください。→ <http://schit.net/mashiko/esmashiko/>



1-2 子ども総合科学館



2-1 子ども総合科学館



2-2 子ども総合科学館



3-1 ひたち海浜公園



3-2 ひたち海浜公園

◇ ◇ ◇ 2学期もやさしさにあふれて～あたたかい部屋の扉と運動会～ ◇ ◇ ◇

長い夏休みが終了し、2学期も早一月が過ぎようとしております。今年度も通常どおり42日間の夏休みとなりました。ところが9月5日から「P.A.5対策強化宣言」が発令されたため、厳しい制限の中での生活となってしまったのではないのでしょうか。現任も、「P.A.5対策強化宣言」が延長9月30日まで



5-2 日光 東照宮・華厳滝ほか



6-1 会津・那須 思い出づくり旅行



6-2 会津・那須 思い出づくり旅行

でされている状況ではありますが、そのような中でも、それぞれの児童にとってより大きく成長を目指す2学期にしてほしいと強く願っています。

さて、1日(水)の第2学期始業式では、「一人一人の人権を大切にしましょう。」ということで、「あたたかい心の部屋のとびら」と「つめたい心の部屋のとびら」について話しました。「私たちの心は、たくさんの部屋に分かれています。とてもうれしく感じる部屋、反対にイライラと腹が立つ部屋、悲しいと感じる部屋、ちょっとしたことでとても気になる部屋など、みなさんも様々な心の部屋をもっています。



今日はそのうちの、やさしさの入っている「あたたかい心の部屋」と、反対に「つめたい心の部屋」の話をする。

二つの心の部屋には、部屋に入る「とびら」があります。私たちがいろいろなことを見たり聞いたりするとき、あたたかい心の部屋のとびらを開けると、やさしさが広がり、いつでも、どこでも、誰

にでも、何にでも、自分にも、やさしくなれます。

反対に、つめたい心の部屋のとびらを開けると、どうなるでしょ

うか。人をいやな思いにさせたり、悲しくさせたりするつめたい心でおおわれます。

弱いものいじめや人のいやがることをしたり、相手を傷つける言葉を言ってしまったりすることは、絶対に許されないことです。ですから、つめたい心の部屋のとびらは絶対に開けてはいけません。ときどき、自分の心をのぞいてみてください。そして、そのとき、どちらのとびらを開けようとしているのか、よく考えてください。益子小学校の皆さん一人一人が、やさしくあたたかい心のもち主になって、みんなの人権を大切にしてほしいと校長先生は、願っています。」およそ、このような内容でした。

人に対する思いやりの心、すなわち「やさしさ」は、私たちが生きている限り学ぶべきものです。そして、行動に移さなければいけません。困っている友だちがいれば助け合い、笑顔で引き受け、よく声をかけ合い、高齢者や下級生をいたわり、喜びも悲しみも分かち合う。コロナ禍の今だからこそ、なおさら人間のもつ「やさしさ」を、どこまでも、どこまでも愚直なまでに信じ、あたたかさあふれる「やさしい」学校にしていければと考えております。

9月17日(土)の運動会へ向けての練習が、5日(月)から開始されました。今年も、児童の意欲や自主性を最大限生かして実施したいと考えております。現在、児童は毎日、各学年の個人・団体種目や表現種目などの練習に汗を流しているところです。学校としてもコロナ禍における感染予防を徹底しつつ、児童が安全に楽しく活動できるよう、日々工夫をしながら指導に当たっています。

なお、「BA.5対策強化宣言」発令中ではありますが、今年度は学年ブロック入れ替え制で保護者の皆様もお迎えすることになりました。保護者のみなさまにおかれましても、児童一人一人が思いやりとやさしさ、そして感謝の気持ちを抱いて一生懸命に活動できるよう、やさしい気持ちで、応援して下さるようお願い申し上げます。

とは申しまして、新型コロナウイルス感染症が収束したわけではありませんので、より、密を避けクラスタ等、リスクを最大限無すことの御協力をお願い申し上げます。



第2学期は1年のうちで最も長く、学習や運動に適した時期です。新型コロナ禍を乗り越えて、益子小に通う子どもたちの心身ともに健やかな成長に向け、今学期も教職員一同、一丸となって指導に当たります。どうぞ、御理解と御協力の程、よろしくお願いいたします。

### ◇ ◇ ◇ 「進化型運動会」～乗り越えろ！勝利の道へ一直線～◇ ◇ ◇



9月24日(水)に行われた益子小学校「運動会」。児童会で決定したスローガンは、「乗り越えろ！勝利の道へ一直線」です。子どもたち全員の運動会にかける意気込みはもちろん、特に自分たちで運動会を創り上げたいという強い思いを抱いている5・6年生、特に6年生による準備・当日の運営・片付け等の一連の活躍は、感動するほど素晴らしいものでした。そして、そのように、一生懸命かつ意欲的に取り組んでいる上級生の姿を日々目の当たりにしていた下級生たちの感謝の気持ちも相まって、まさに「乗り越えろ！」「勝利の道」「一直線」というスローガンにちりばめられた言葉どおりの一途な熱い思い、そして、全員でこのコロナ禍という困難を乗り越えていこうという「勇氣」さえ感じさせてくれる運動会になりました。結果、6年生のリーダーシップの下、児童主体、かつ、低・中・高学年ごとに関・閉会式を行うなど、昨年度の運動会をさらに進化させた形での益子小学校の運動会を創り上げてくれました。

今年度も、これまで実施してきた行事等がコロナ禍のため、縮小あるいは中止となっております。8月には緊急事態宣言が発令され、さらに厳しい状況となりました。そのため6年生がリーダーシップを発揮する場や下級生がフォロアーシップを発揮する場がますます少なくなってしまうました。それでも今年度の6年生は、そうしたことを払拭するかのよう、限られた場・時間であっても、知恵を絞り創意工夫しみんなで力を合わせ、新たな伝統・歴史を築き上げてくれています。「あいさついっぱい運動」もしかり、今回の「運動会」もその一つなのです。そして、そのような姿を下級生たちが見て学び、「ようし、次は自分たちが…！」という思いを抱き、次の伝統・歴史を刻んでいってくれるのだと信じています。

